

くまもと農業アカデミー最新栽培技術コース「病害虫」講座 概要

グリーン農業を推進する本県にとって、病害虫防除における化学農薬使用の抑制は取り組むべき大きな課題です。

今回は、『農業生産における病害虫防除の現状とIPMの最新事情』のテーマで、3人の講師による講演会を開催しました。

平成24年11月7日午後、県立大学の中ホールには、約70名の受講者が集まりました。

講座1として、熊本県立大学環境共生学部教授 松添直隆氏から、『熊本県でのグリーン農業の推進と病害虫防除技術の今後の方向』のタイトルでパワーポインターを使った講義があり、①熊本県での「グリーン農業推進がめざす環境に優しい農業の展開について」②熊本県での病害虫防除対策の問題と今後の方針等について、40分の講義がありました。

初めてグリーン農業の推進を知る参加者も居て、興味をひいていました。

講座2では、『農業生産現場でのIPM（総合的防害虫防除管理）最新事情』と題して、アリスライフサイエンス株式会社の本社より、技術普及部 里見純氏を招いて①IPM技術の基本的な考え方と最事情 ②IPMでの先進的防除技術とIPM最新資材と活用方法について、70分の講義を聴きました。

IPMの言葉を聞く参加者も多く、パワーポインターでたくさんの写真の紹介があり、天敵を利用する際の注意点等がわかりやすく説明されました。

講座3では、『施設園芸での生物農薬等を中心としたIPMへの先進的取り組み事例』と題して、同会社の技術顧問 荒木 均氏から、①熊本県での施設園芸を中心としたIPMへの取り組みの現状 ②主要作物別取り組み事例の紹介について、30分の講義を聴きました。

本県で実際取り組まれている、個人や部会等の取り組みが紹介され、身近な導入事例は大変興味をひいていました。

会場内には、5台の実態顕微鏡を設置した、スワルスキーカブリダ二等の捕食性天敵の実物展示があり、参加者全員が興味深く覗いていました。

講義の後の質疑応答では、IPM技術については初めて知り大変興味を持った！自分の経営する作物には、どのような天敵が利用できるか？コストはどの位かかるか？等の質問が次々に出され、関心の高さが伺えました。

